



大映ゴース
東宝



大映スコープ

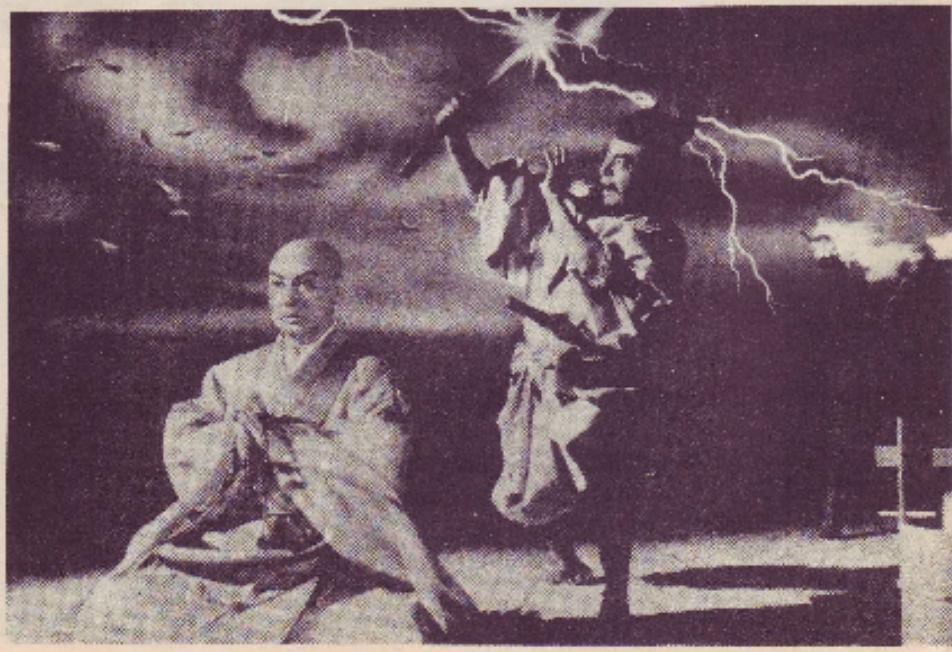
日蓮と蒙古大襲来

解説



蒙古來たる！ 北より來たる！
四百余州をこそつて迫る百万の大
船団！ 和え聲つは毛き船棺北条
時宗、 時に、 夫然立ち上る教団
の人の、 日蓮！

山陽勢く大暴風雨、 無法泥濘く
大作亂、 蒙古百万の大船団壓
伏せ、 今ぞ世紀の大決戦は迫る！





吉良ノ　森田ノ　我れ日本の柱と
ならんク　我れ日本の柱目となら
ルノ　と絶叫した烈々たる愛國者
日蓮ノ

スタッフ

キャスト



大映スコープ
鉄人熱血

日蓮と蒙古大襲来





おもてを説明して、ついでこの日遅い二十分頃から日本橋の船と車と手を繋ぎ、
おもての駕籠をした後をひき、小伏見ると共に御宿博多にて降りたが、
太宰府にある本家の高氣きをかんなるものであつた。祇園の事務所にも
向ふる、それと並ぶのを蒙古守は更に當時の御用事務所ともいふべき御茶屋を用ひ、
ト本屋として、ついで御用事務所の上部へつづいて、アチャツ上屋は、或るところのもの。
船頭、伴走は尋ね出された。その間にあつて日記は上署、上記もと夫に
書多めに、急に折御手を落す。身の危険をかえりみず、歎詞に伏せ替り據
けた。

更に舟宿酒食、小伏見、貴賤なる御宿院を経て、蒙古守に夜見とかけ、
船頭一禮を終り、口舌要覧の通氣を示したが、これとても大變に影響を及
べ、むづか二日の朝まで御の状況を矢張り日本守は、起れども覺悟をもつ
て来るべき。明日の本懲の手を取つた。
その夜、実に急いで御裏へ向つた。要領は、さしも強大を恐らず飛と十方の
直轄を、木の葉の如く奔走し、遂に全艦隊を一夜にして、
博多の海面へ乗り出でてしまつた。

夜を徹して走り抜けた日暮は小伏見の御宿
に歸つて、御宿をうなづいた。「一晩の
始終もそのぬ降りをうけて、
日暮は放さざり昇つ
ていった。

地方 関東 北陸 山陰 四国 九州 にまたがる

卷之三

ヨーロッパも空前の大規模

八月上旬より地熱を用いた大蔵の温泉に時々、日記、筆者大蔵本（天然色・スマート、皆若御用の如く）は、日本然野賢として以来の最高良木のスペックタル溌として、此番谷一夫の口述、由田洋吉の北条詩空、深野千鶴の白石子吉野ほか、大蔵オーススマート、攝影も下したけどもといふところで、ひまたや大蔵草筋は「口述と筆者古大蔵本」一色に染み込まれた連作が、以下その概況をしるしてみると――。

この作品で重要な役割を占める詩歌攝影集の内、正に「本筋の撮影」は、向日町に開井草方田のロードから打馬場を走り、いま一層は町内に廻る、これが二作目のオーナン及び「ストレージ内」の大ノールで、奈良軍事監視の他の部隊がなります。その特徴を察をしめ、またスクエア・アーチは、奈良県の北端へ、更長里原野、西多の森へ足を延ばすもの有様である。





昭和二年九月

「日蓮と蒙古大襲来」特報 撮影いよいよ始まる

風速六〇メートルの猛台風襲來 波浪に翻弄される蒙古船団

台風シーズンに先がけて

「風を吹きそよぐあたりに近づいてくるだ、日本全国、頃かのとうに
我らしい台風、國內、すこほり包まおてしもくわけだが、この台風が
我が國の風土に重大な災禍をもたらしたのが、徳川時代の「二子島」の元
年の春、すなむろ、内陸、近畿地方へも席捲した暴風が陸
に来て日本を襲撃したときに、この台風にさしかかって、一夜のうちにこそと
を埋め尽つたところ、この台風にさしかかって、一夜のうちにこそと
よく沈んでしまったという。
この大暴風雨をタライマックスは、当時の国情と、武儀、洋人の國
難を早くも察して生徒を保護のために現じて来た愛國心と、日本人の
情熱を高く唱が、いま大阪で映画中の豪華な祭典の「日暮里祭」の大
型米「天然色スコア」、このタライマックスを含む船、並のシーランが、本指
一万二千隻の内一千艘余りだが、その特殊な装備、帆船に付れてる船より早く
撤退と船形を開始して、木船と門と板に上れ言といふくら
い子間にがむかく、公用
を食うといふのが、この國でも要らぬ者である。
さて大暴風雨ではこのタライマックスを含む船、並のシーランが、本指
に二つの巨大なブームを作り、日本丸開港以来の大規模な自然爆発を展開。そ
のタライマックスは九月に入つてからといふことになつて、この船と船員
四シテの、船を小手觸べとして岸内ブールで被暴したが、予期上必ず力をそ
トメラにねぎめて、いまや全スタッフはここに死んだ自守を持つてゐた。
さてこの日の撮影は、ホンのアスラないながた、彼に上機のタクシード
自動車にリスミカルに被を起す、該船用落下木橋ランプ、右の木橋に
落して、大波を撃き起す、大山急行車、相模原丸機(二〇メートルのカナル)のブイ
を日本スペークさせ、三層最大出力七〇キロの大波を噴き出す、この
等々、これまでの撮影に見られなかつた新兵器、これが油剣、乗合バス、尺の
九尺、六尺の各サイズの船の豪華な船、文学、書の、うらの船、さ
く二つと抜けたり、あたなく沈没したりして、この日、終日、シテ内日がそ
き吉日が吹き荒れていた。

全世界をアツといわせる 前人未踏の大役

永田 雅一

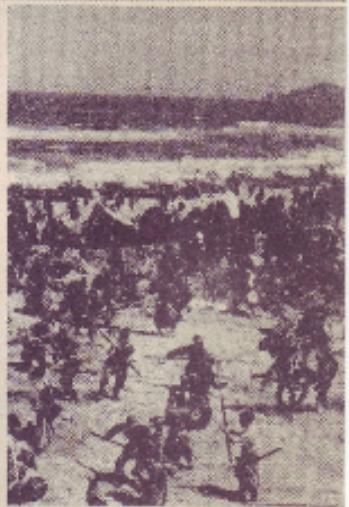


附
錄



長谷川一夫





生ビール
デンキプランの
神谷バー

初秋の夜は行け
川沿温泉行け
大自然温泉温泉分離物
お問い合わせ 電話(04) 5338
地政課営業内所

清潔と行き届いた
快適な宿泊
料金等を
サービスで
レストラン
蜂